平成１７年１０月１９日
財　務　企　画　課

平成１８年度当初予算編成方針の概要

１　１８年度当初予算の編成方針

（１）　「福井元気宣言」実現のための施策の仕上げ
（２）　「行財政構造改革プログラム」の確実な実行および
　　「集中改革プラン（仮称)」の推進
（３）　「三位一体の改革」に対応した施策の抜本的見直し

２　要求段階から創意工夫、制度改革等を促す仕組みを導入

（１）　部局の創意工夫を積極的に促進
　①　１６年度から引き続き、シーリングにとらわれず、各部局が積極的に施策を立案できる政策推進枠を確保
　②　国の動向に速やかに対応するため、移譲対象補助金事業の見直しに着手

（２）　見直しの重点項目
　①　地方分権時代に対応した県民の視点に立った施策の再構築
　②　市町村合併の進展を踏まえた事務事業の見直し
　③　公共・県単独事業の予算配分の見直し
　④　「集中改革プラン（仮称)」の策定とその推進　　など

３　予算要求基準（シーリング等）

（１）　投資的経費（「豪雨災害関連」を除く。）公共　９５％以内
　　県単独　９０％以内
（２）　政策的経費（政策推進枠を除く）　９０％以内
（３）　経常的経費（標準経費・標準外経費）　９０％以内

※　今後、地方財政対策の動向等により、弾力的対応を行うことがある。